

質問回答

NO.	質問	回答
1	本業務の履行場所の2区画それぞれの撤去区分で示される箇所は隣接したものなのか。	各区画は隣合わせの区画ではあるが、各区画間は道路を挟んでいるため、履行場所が約100m程度、離れています。
2	安全確認調査箇所と土壌調査箇所は別の区域なのか、位置関係が知りたい。	安全確認調査箇所と土壌調査箇所は同じ箇所の所が含まれることもあれば、別の箇所もあります。その理由は、過去に土壌調査した所を除いた残りの地域を10mメッシュで区切った箇所の探査になるためです。細部は契約後に10mメッシュの概略図面を提供します。
3	土壌調査に関し、一部建物が残っている箇所が5箇所程度あるとのことであるが、土壌採取15箇所の表層の状況を教えて頂きたい。コンクリートカッター等の表層処理が必要か知りたい。	土壌採取15箇所のうち、すでに裸地になっている箇所が10箇所程度あります。一部建物（物置、倉庫、アスファルト）が残っている箇所が5箇所程度あり、そこは、施工業者が取り除きますので、裸地化された後に土壌調査を実施することとなります、よって、請負業者の方でコンクリートカッター等の表層処理は必要ありません。
4	金属探知機及びレーダー探知機による探査は、地表面より深度50cm程度の範囲の探査との理解でいいか。	金属探知機は基本、アスファルトを取り除き、碎石を取り除いた後の地表面から深度50cmまでを探査します。同様に、レーダー探査は、碎石を取り除いた後の地表面から深度3mまでの探査をお願いします。なお、すでに裸地化された箇所は、そこから金属探査機は深度50cmまでを、レーダー探査は深度3mまでの探査になります。
5	本業務の掘削工事の予定はいつ頃でしょうか。	現在の予定は、11月と聞いています。細部日程は契約後に調整となります。